



羅針盤

入試のプレッシャーに負けない自信。
明確な根拠のある自信。
それを得るためには、ひたすら勉強するしかない。（桜木健二『ドラゴン桜』）

令和5年度がスタートしました

令和5年度がスタートして2週間が過ぎました。明るい表情の生徒が多く、自分達で声を掛け合って整列・移動する姿、自分達で過ごしやすい教室を作ろうとする姿など、3年生が後輩たちのお手本となる場面がよくみられ、良いスタートができています。先日の学年オリエンテーションでは進路について「自分でさがす」「自分で考える」「自分で決める」という話をしました。もちろん自分だけでは難しい場面も



ありますし、先生方もサポートをします。これから1年間、進路通信を発行します。進路選択に際して少しでも役立つ情報を発信できればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

進路の選択にあたって～「2つの見通し」

「3年生＝受検・受験」の公式を描いている人も多いのではないのでしょうか。「今年は気合を入れるぞ！」と意欲に燃えていると思います。その意欲を、今後どう具体的な姿で表し、継続させていくかが、自分の進路を確実なものにしていく上でのカギとなってきます。そのために、まず、「2つの見通し」をもちましょう。

- ① 遠い「見通し」…「将来何をしたいのか。何になりたいのか。どんな職業に就きたいのか。」をはっきりさせよう。
- ② 近い「見通し」…「〇〇をするためには（〇〇になるためには、どんな高校・学科に進めばよいのか。）を聞いたり調べたりしよう。

「遠い見通し」をもつことで、「近い見通し」がはっきりし、より意欲が出ると思います。また、自分の適性や能力、興味・関心、健康状態など、自分と自分を取り巻く環境についてもよく考えてみましょう。



以上、2つの見通しを確認できたら、それらを達成するための努力を実践していくことが大切です。

意識することで情報が入ってくる

進路決定をしていくために、まず「情報」が必要です。「知っていること」と「知らないこと」では、頭に入ってくる情報の量が違います。好きなアーティストの曲が流れるとすぐに気付くことはありませんか？知っていること（もの）や意識していることに関する情報は、自然と頭に入ってきやすいのです。つまり、学校の名前や学科を知っていれば、その学校に関する情報は頭に入りやすくなります。その学校のことが分かれば、次は同じ学科の他の学校の情報が気になります。そうすることで、情報が増え、よりよい進路選択ができるはずで。進路通信や校内の掲示板、高校のホームページなど積極的に活用しましょう。



御家庭でも確認を

今後、進路に関するさまざまな書類を提出していただきます。どの書類も、特に重要なものですので、次のことを家庭でも確認してください。

- ① 提出期限（学校締切日）は必ず守る。
 - ② 記入には<黒のボールペン>を使う。（消えるペンは使えません。）
 - ③ 印鑑は朱肉を使用するものを使う。
 - ④ 高等学校名、学科名などは「正式名称」を記入する。
 - ⑤ 訂正する場合は、訂正印を使う。（修正テープなどは使いません）
- 一人でも提出が遅れると、他の人に大きな迷惑がかかります。締切日の1日前にはどの提出物も提出する習慣を付けておきましょう。

5月の予定（進路関係）

- 8～11日 第1回進路希望調査 ※期日厳守
- 8・9日 第1回実力テスト
- 下旬 教育相談